

六方晶窒化ホウ素の 新機能の発見から現在まで

— 研究の現状と展望、応用可能性 —

六方晶窒化ホウ素 (h -BN) はホウ素と窒素の六角形格子構造が層状に積み重なった構造を持つ。2000年代にNIMSの谷口氏と渡邊氏が高品質結晶の合成に成功し、世界中に広まった。 h -BNは常に進化し、新しい分野を開拓し続けてきた材料であった。最初は紫外発光素子材料として注目され、次に高品質な絶縁体基板として活用されるようになった。最近ではトランジスタや量子情報に向けた研究にも使われている。本シンポジウムでは、進化し続ける材料 h -BN研究の過去から現在までを俯瞰し、今後の展望について考える。

2022年9月20日(火)

13:30~18:15

ハイブリッド開催

招待講演者

谷口 尚 (NIMS)

服部 吉晃 (神戸大)

山口 尚秀 (NIMS)

渡邊 賢司 (NIMS)

竹内 繁樹 (京都大)

岩崎 拓哉 (NIMS)

島崎 佑也 (理研)